

省エネルギー月間

冬季のエネルギー需要期である2月を「省エネルギー月間」と定めており、省エネルギーの推進を呼び掛けています。今回はCO₂の排出量を減らし地球温暖化の防止につながるエコドライブをご紹介します。

参考:「エコドライブ10のすすめ」(資源エネルギー庁) (https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/assets/pdf/general/library/ecodrive_10.pdf) を加工して作成。

エコドライブ10のすすめ

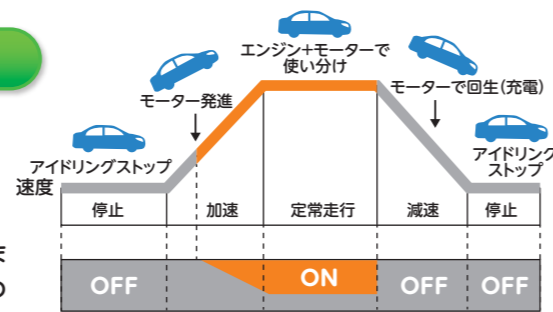
- 1 自分の燃費を把握しよう**
燃費を把握して、エコドライブ効果を実感。
- 2 ふんわりアクセル「eスタート」**
やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善。
- 3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転**
ムダな加速・減速は、市街地で2%程度、郊外では6%程度燃費が悪化。
- 4 減速時は早めにアクセルを離そう**
エンジブレーキを作動させ2%程度燃費を改善。
- 5 エアコンの使用は適切に**
車内の温度設定が外気と同じ25℃であっても、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化。
- 6 ムダなアイドリングはやめよう**
10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を消費。
- 7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう**
ルートをあらかじめ確認せず、1時間のドライブで道に迷い10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加。
- 8 タイヤの空気圧から始める点検・整備**
空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化。 ※適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合。
- 9 不要な荷物はおろそう**
100kgの荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化。
- 10 走行の妨げとなる駐車はやめよう**
他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因に。

ハイブリッド車のエコドライブのコツは?

答え: モーターを活用しましょう!

■発進と加速はモーターの得意分野

モーターの力でゆっくり発進し、エンジンが作動したら目的速度までモーターの力も活かしてゆっくり加速、その後はアクセルを緩めてできるだけモーターのみで走行することで燃費が良くなります。



ハイブリッド車のエンジンの稼働図

エコドライブ支援ツールを使って燃費向上!

エコドライブランプ*が点灯するように運転しましょう。



エコドライブスイッチ*をONにしましょう。



「何はともあれ、さておき。」といった意味の「兎に角」という言葉の語源をご存知でしょうか? 兎に角は「とかく」の当て字「兎角」を真似た当て字で、仏教語でこの世のものではないことを意味する「兎角亀毛」から使用したと考えられています。しかし、「兎に角」と「兎角亀毛」の意味に関連性は無く、夏目漱石が多用したことで一般的に用いられるようになったと言われています。



レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン 検索 **メルマガ** 配信!

安全ニュースのご活用についてお願い

- 弊社は皆様の安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。
- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複写・複製・貸付・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

レンタルのニッケン 公式 Twitter 情報発信中!

フォロー 宜しく お願いします!

安全ニュースで取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください **e-mail: nikken@rental.co.jp**

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

NIKKEN

安全ニュース

Safety news

お客様の安全作業のために。

2023年
2月号
No. 254

編集・発行 株式会社レンタルのニッケン 安全技術部/営業企画部

お問い合わせ TEL.03-5512-7411



特集 【三大災害】墜落・転落

- 建設業における死亡災害発生状況
- 省エネルギー月間
- 墜落・転落災害例と防止対策例

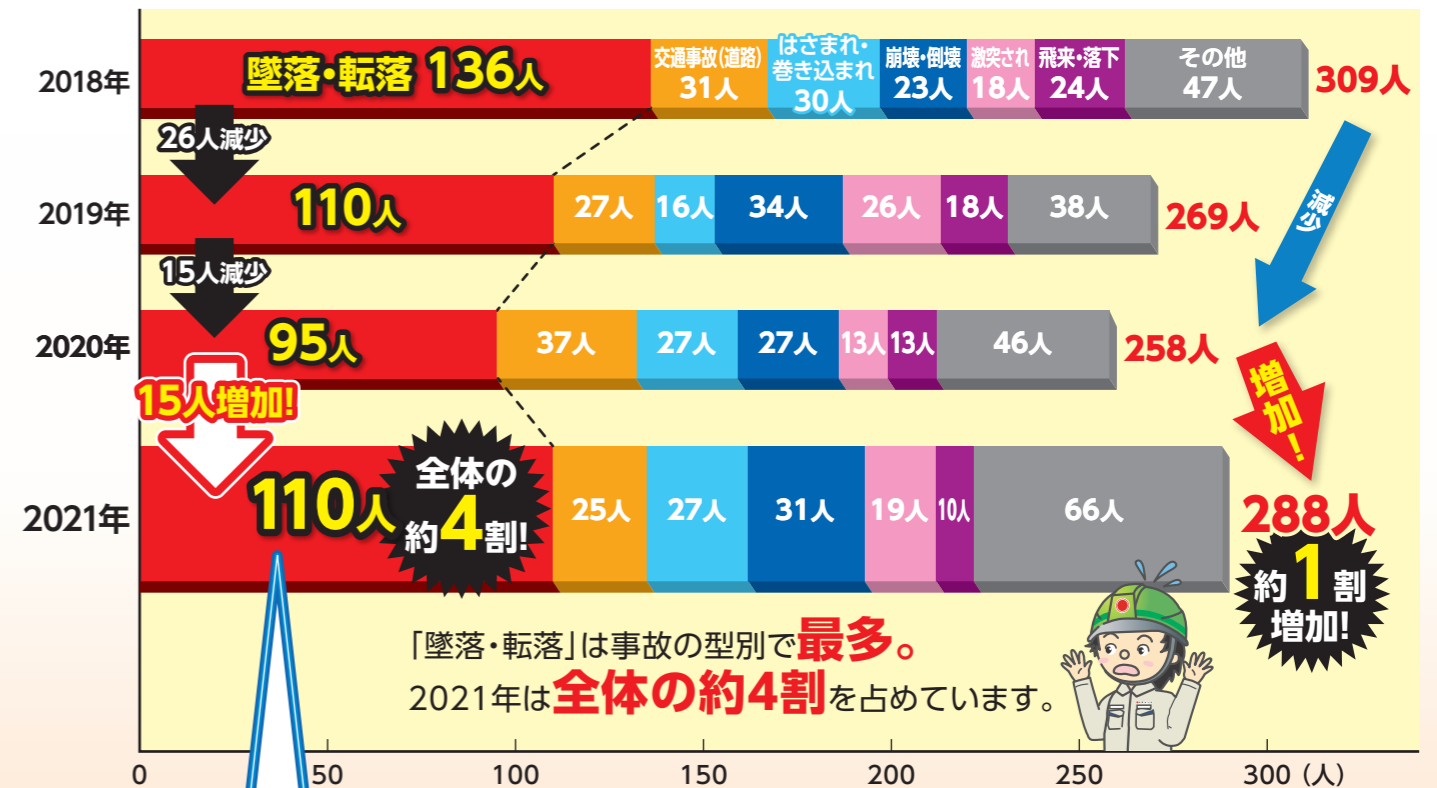
2023年
3月号の予告

新規入場者

参考:「労働災害統計」(厚生労働省) (https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.html) を加工して作成

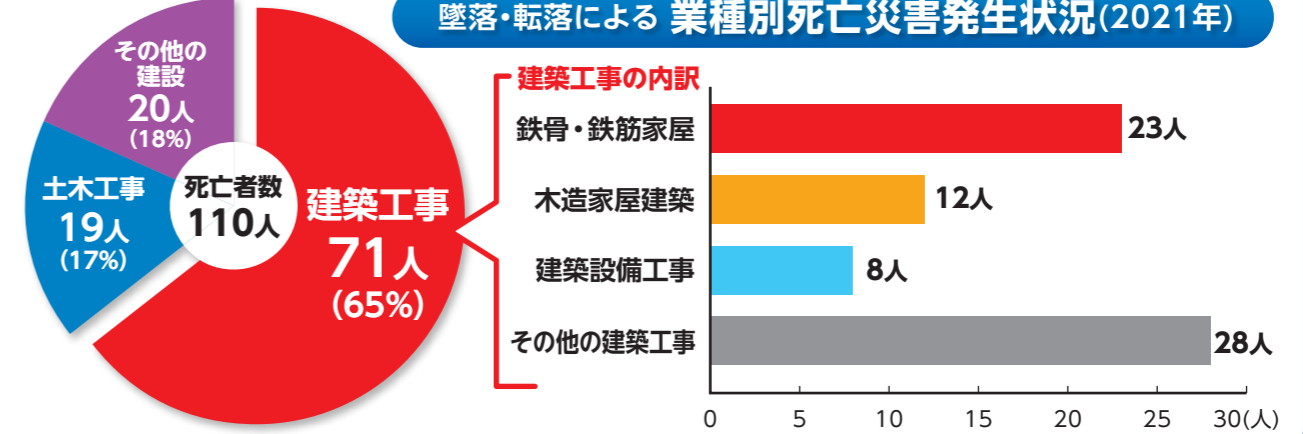
建設業における死亡災害発生状況

「墜落・転落災害」は建設業の三大災害にも数えられ、以下のように事故の型別の死亡災害では最も多く発生しています。中面で掲載の災害例とその対策も合わせてご確認ください、皆様の職場における災害防止対策にお役立てください。



「墜落・転落」は事故の型別で**最多**。2021年は**全体の約4割**を占めています。

墜落・転落による業種別死亡災害発生状況(2021年)



★ ホームページにも掲載しております!是非ご覧ください。★

墜落・転落災害例と防止対策例

ここでは、墜落・転落災害例とその防止対策例をご紹介します。まずは災害例をご確認いただき、防止対策の立案にお役立てください。

災害例 1

トラック

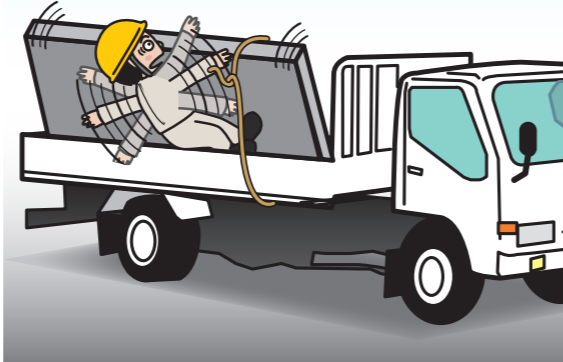
からの
墜落・転落

トラックの荷台に作業者を乗せたまま走行したところ、荷物とともに作業者が転落



●坂道で荷が滑り、荷物とともに転落した。

トラックの荷物を固定していたロープを緩めた際に荷が崩れ、荷物とともに転落



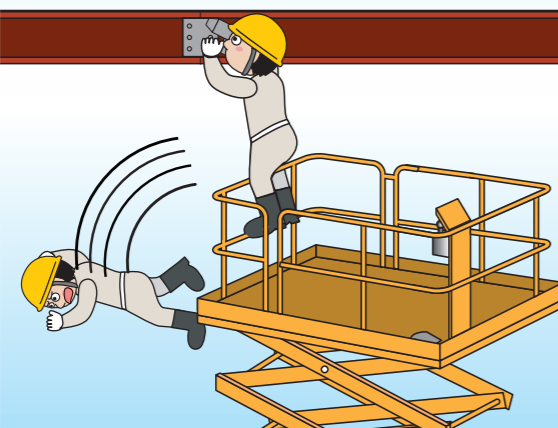
●荷崩れに巻き込まれ作業員も一緒に転落した。

災害例 2

高所作業車

からの
墜落・転落

高所作業車の手すりに乗って作業していたところ、バランスを崩し墜落



テーブルリフトの移動中に段差で転倒



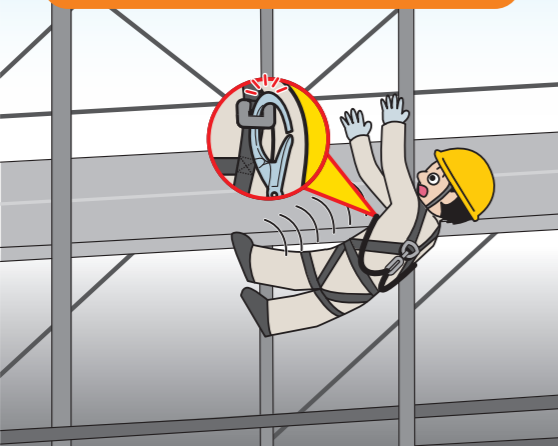
●現場内の段差に気が付かず転倒した。

災害例 3

足場

からの
墜落・転落

墜落制止用器具を着用していたが、使用していなかったため墜落



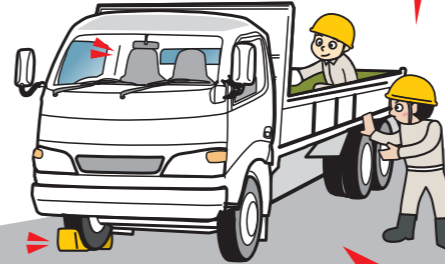
時おり強い風が吹いている中で高所における作業を行い、バランスを崩して墜落



災害例 1 防止対策

厚生労働省ホームページ「荷役作業時の労働災害を防止しよう～荷役作業時における墜落・転落災害防止のための安全マニュアル～」
(<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/0909-1.html>) を加工して作成

荷台作業中は合図者を配置する



サイドブレーキ、輪留めをかけ
運転席には乗らない

荷締め器具の機能等は
作業前に点検する

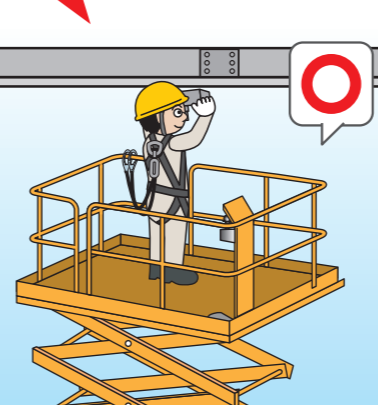


・荷締め作業は荷の上ではなく地上から

墜落・転落災害を防止するため、しっかりと対策を実施しましょう！

災害例 2 防止対策

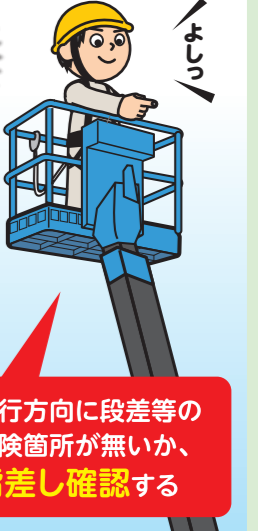
所定の場所以外の乗車禁止



誘導者を配置し、直ちに
停止できる速度で走行する



乗車前にも危険箇所の
確認を！

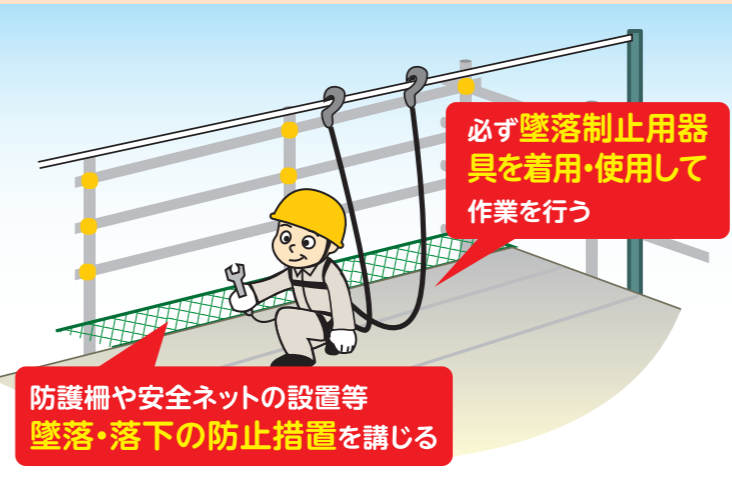


段差部に、段差スロープを
設置し通行位置を明示する

進行方向に段差等の
危険箇所が無いが、
指差し確認する

災害例 3 防止対策

必ず墜落制止用器具
を着用・使用して
作業を行う



防護柵や安全ネットの設置等
墜落・落下の防止措置を講じる

悪天候のため危険が予想
されるときは高所での
作業を行わない



危険!!

中止しよう